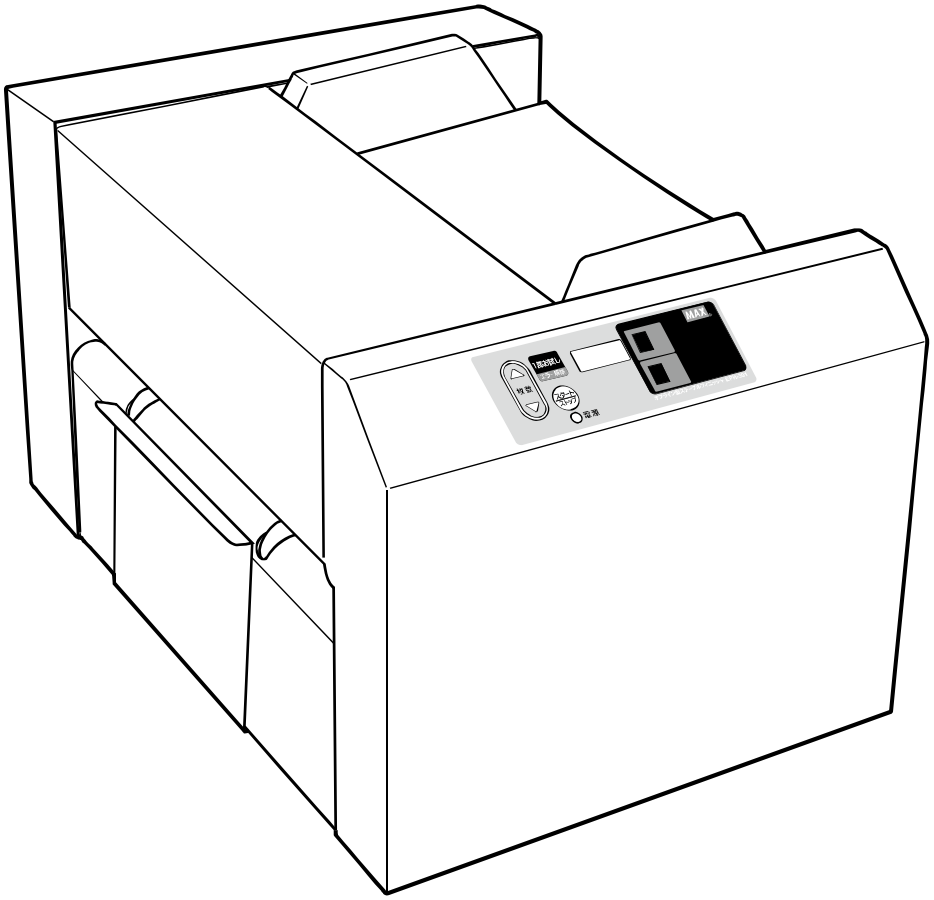
MAX®

オフライン型ステープルフィニッシャ

EPH-301

取扱説明書



- ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁じられています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

4009794（00/01）

目　次

必ずお読みください

はじめに…… 1
ご使用上の注意…… 1
ご使用上のお願い…… 4

第 1 章　お使いになる前に

1-1　同梱品…… 5
1-2　各部の名称…… 6
1-3　操作パネル…… 7
1-4　本機を設置する…… 7

第 2 章　操作の流れ

2-1　本機でできること…… 8
2-2　操作の流れ…… 9
2-3　動作を停止させる場合…… 10

第 3 章　こんなときは

3-1　エラーメッセージ一覧…… 11
3-2　用紙の除去…… 12
3-3　消耗品の交換…… 13
3-4　針づまり除去…… 13
3-5　メンテナンスのしかた…… 14
3-6　こんなときは…… 16
3-7　アフターサービスのご案内…… 16

第 4 章　商品仕様

必ずお読みください

はじめに

この度は、EPH-301 をご購入いただき、誠にありがとうございます。
本機は、複数部の書類を手間なくホッチキスとじすることができる専用機です。従来の電子ホッチキスには無かった搬送機能が搭載されていることにより、用紙をそろえる、手差しするといった手間を省き、効率のよいとじ作業を実現することができます。末永くご愛用いただくために、この取扱説明書に従ってご使用いただきますようお願い申し上げます。

ご使用上の注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しくお取扱いください。

■表示について

この取扱説明書および商品は、本機を安全に正しくお使いいただくためにいろいろな表示を使用しています。その表示と意味は次の通りです。

⚠ **警告**	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定され、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。
⚠ **注意**	取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性が想定され、絶対に行ってはいけないことや物的損害のみの発生が想定され、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。

お願い

本機が故障し修理が必要になることが想定される操作や、現状復帰するためにリセットなどの操作が必要になるので絶対に行ってはいけないことが書かれています。

メモ

操作上のポイントおよび知っていると便利なことが書かれています。

参照

説明のページが異なる場合に参照するところが書かれています。

■絵表示について

△	「気をつけるべきこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は、具体的な注意内容です。
⃠	「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は、具体的な禁止内容です。
●	「しなければいけないこと」を意味しています。この記号の中の表示は具体的な指示内容です。

必ずお読みください

⚠ 警　告	
	●**本機の内部に指、ペン、針金などの異物を差し込まないでください。**故障や、火災、感電、けがの原因になります。 ●**電源は直接コンセントからとり、タコ足配線はしないでください。**火災の原因になります。 ●**電源コードを加工しないでください。**火災、感電の恐れがあります。 ●**電源コードの上に重いものを絶対にのせないでください。**コードに傷が付いて火災や感電の原因になります。 ●**電源コードは、束ねたまま使用しないでください。**発熱により、火災や故障の原因になります。必ずほどいてご使用ください。 ●**濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。**感電の恐れがあります。 ●**水に濡れた手、衣服のまま本機の操作をしないでください。**感電の恐れがあります。 ●**コンセントに差し込んだまま、紙や布を本機の上にかぶせたり置いたりしないでください。**火災や故障の原因になります。 ●**電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに必ず電源プラグを持って抜いてください。**コードが破損して火災や感電の原因になります。 ●**電源コードのアース線は電源コンセントに挿入または接触させない**でください。火災・感電の原因になります。 ●**針はお子様の手の届かない所に保管してください。**万一飲み込んだ場合はすぐに医師の指示を受けてください。
	●**水、薬品などが本機にかからないようにしてください。**万一内部に水などが入った場合は電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると故障や、火災、感電の原因になります。 ●**故障のまま本機を使わないでください。**煙が出ている、変な音やにおいがするなど、故障のまま使用すると**火災、感電**の原因になります。**すぐに電源コードをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。** ●**クリーニングや消耗部品交換の際は、必ず電源プラグを抜いてから行ってください。**不意に動作してけがをする恐れがあります。
	●**本機は絶対に分解または改造しないでください。**火災、感電、故障の原因になります。
	●**電源は AC100V 専用コンセントを使用してください。**100V 以外の電源を使用すると、故障や火災、感電の原因になります。 ●**必ずアース接続を行ってください。**万一、漏電した場合に、火災、感電の恐れがあります。 ●**電源プラグは定期的に清掃してください。**長い間にホコリなどがたまり、火災や故障の原因になります。

⚠ 注　意	
	●本機は必ず水平に設置してください。ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に設置しないでください。倒れたり台から落ちたりして、けがや故障の原因になります。 **●大きな容量を必要とする機器（冷暖房機、冷蔵庫、電子レンジ、OA機器等）とコンセントを共用しないでください。**電圧が下がり本機が誤動作する可能性があります。 **●直射日光の当たる場所や高温多湿の場所、結露した状態でのご使用は避けて**ください。動作が不安定になることや、本機故障の原因になります。 **●電源を入れたまま、ローラなど駆動部には触れないでください。**けがをする恐れがあります。 **●髪の毛、ネクタイ、ネックレス等をローラなどの駆動部に近づけないでください。**巻き込まれてけがをする恐れがあります。 **●紙や布を本機の上にかぶせたり置いたりしないでください。**火災や故障の原因になります。 **●消耗品針は純正品以外を使用しないで下さい。** **●指定の用紙以外は使用しないでください。**本機が故障する可能性があります。
	●針が出る部分には絶対に指を入れないでください。けがの原因になります。 **●排紙部、給紙部に手や物を入れないでください。巻き込まれる恐れがあり非常に危険です。** **●針交換の際、モータには絶対にさわらないでください。**動作直後のモータは高温になっており、やけどの原因になります。
	●電源プラグは定期的に清掃してください。長い間にホコリなどがたまり、火災や故障の原因になります。 **●クリーニングや消耗部品交換の際は、必ず電源プラグを抜いてから行ってください。**不意に動作してけがをする恐れがあります。 **●針交換の際、万一、指や体にグリスが付着した場合は、すぐに石鹸水で洗い流してください。** **●本機を移動させる場合は、必ず本機底部を持って運んでください。カバー部を持って移動しないでください。**落下や変形等でけが、故障の原因になります。 **●カバーの開閉時には、手をはさまないよう注意してください。**
	●連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 **●設置場所を移動する時は、必ず電源コードをコンセントから抜いて行ってください。**無理をするとコードが傷つき、火災や感電の原因になります。

免責事項

本取扱説明書の記載内容を守らなかったことにより生じた損害や、故障等の使用不能の際に生じた損害や逸失利益、または、重要書類の破損および、これにより生じた 2 次的な損害につきましては、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

ご使用上のお願い

お願い **機械のトラブルを避け、本機の故障を未然に防止するために、下記の事項を必ず守ってください。**

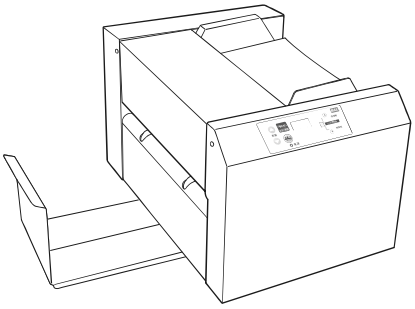
1) 動作中に電源を切ったり、プラグをコンセントから引き抜かないでください。
2) トラブルの原因になりますので次のような場所では使用及び保管をしないでください。
   ①直射日光の当たる場所やヒーター等の熱源に近い場所
   ②ほこりや湿気の多い場所
   ③傾いたり振動や衝撃の加わる場所
   ④温度が 10℃以下、35℃以上になる場所で使用しないでください。
   ⑤温度が-10℃以下、60℃以上になる場所で保管しないでください。
   ⑥高圧電源や強磁界を発生する機器の近くでは使用しないで下さい。
3) 本機の汚れを落とす際は、乾いた柔らかい布でふいてください。
   シンナー、ベンジン、アルコール等の有機溶媒や薬品を使わないでください。
   機械が変形したり、変色するなどの原因になります。
4) コーヒーやジュースなどの飲み物や、花瓶の水などを本機の上にこぼさないでください。
5) 本機は精密機械です。落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。
6) 本機内部に、ゴミや異物が入らないように注意してください。
   故障の原因となります。
7) 消耗品針は、必ずマックス純正品(No.30FER)をご使用ください。
8) 用紙が湿気を含みすぎるとシワになり正しく送れない場合があります。高温高湿の環境を避けて用紙を保管してください。

第１章　お使いになる前に

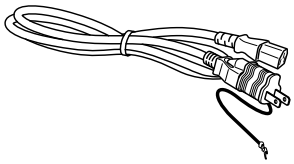
1-1　同梱品

梱包箱を開梱し、同梱品を確かめてください。

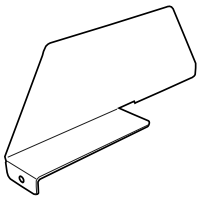
■本体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１台
＊針は本体内にセットされています



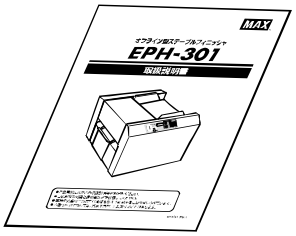
■電源ケーブル・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １本
（変換プラグ付）



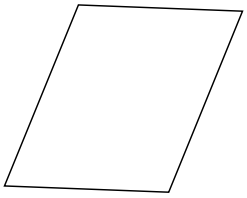
■用紙ガイド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1 個



■取扱説明書（本書）・・・・・・・・・・・・・・・・ １冊



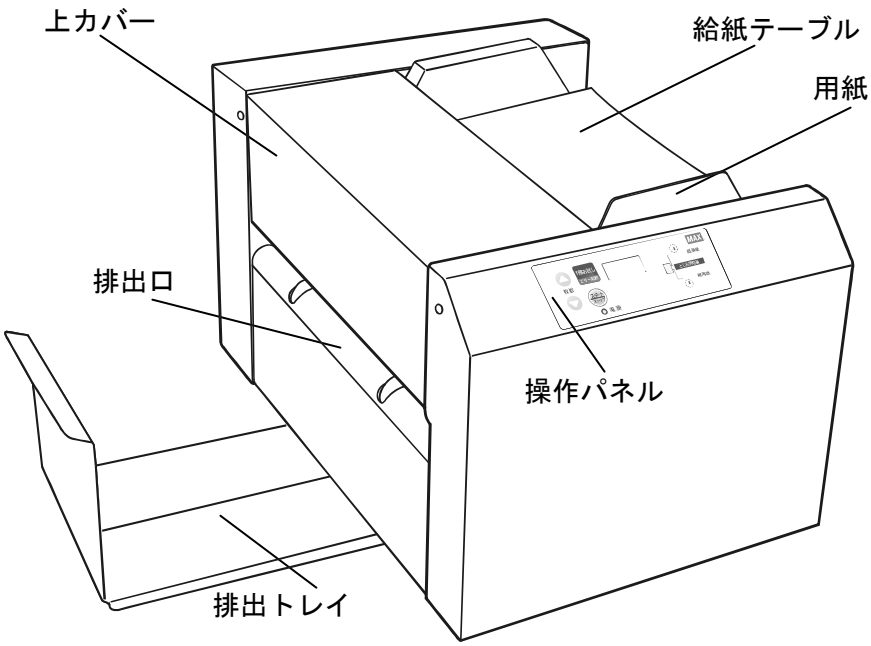
■お客様登録カード兼保証書・・・・・・1 枚

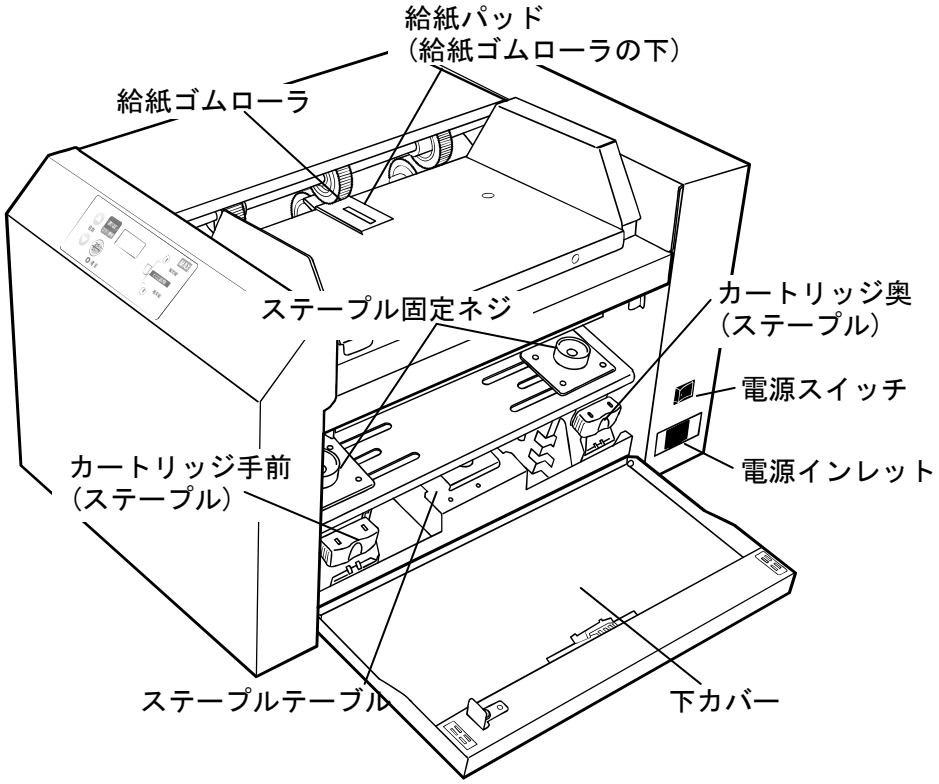


●お手数ですが、お客様登録カードに必要事項をご記入の上 FAX にて送信するかハガキ部分をご投函ください。
●お客様からご提供いただいたお客様の氏名・住所・電話番号及びご使用中の当社製品に関する情報は、新製品情報・イベントのご案内や当社製品・サービスの向上のために利用させていただきます。
●操作がわからなくなった時には、本書をお読みいただけますよういつでも取り出せる場所に大切に保管してください。

1-2　各部の名称

■EPH-301 各部の名称





1-3　操作パネル

ボタンの説明

名称	内容
①ページアップボタン	待機時　：とじ枚数を１ずつ繰り上げます
②ページダウンボタン	待機時　：とじ枚数を１ずつ繰り下げます
③1 部お試し ／ エラー解除ボタン	待機時　：ディスプレイに表示されている 枚数で１部試しとじを行います エラー時：エラー解除動作を行います
④スタート ／　ストップボタン	待機時：とじ動作を開始します 動作時：とじ動作を停止します

スイッチの説明

名称	内容
⑤とじ位置切替スイッチ	ホッチキスとじの位置を選択します(手前、奥、平とじ)

LED ランプの説明

名称	ランプ色	内容
⑥LED ランプ	青色	電源ＯＮ時に点灯します

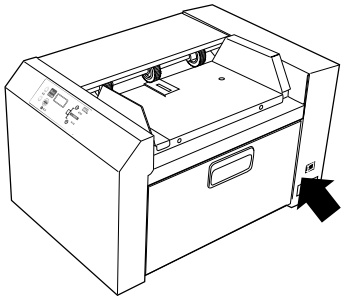
ディスプレイの説明

名称	内容
⑦ディスプレイ	待機時　：ホッチキスとじする枚数を表示します(2～30 枚) 動作時　：ホッチキスとじした部数を表示します エラー時：エラー番号を表示します

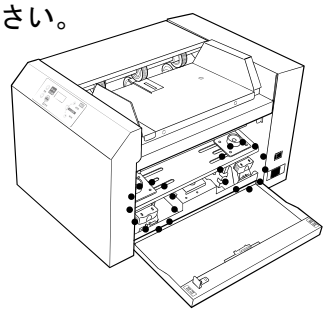
1-4　本機を設置する

設置手順は、次の通りです。

1. EPH-301 本体の電源インレットに電源コードを差し込み、プラグをコンセントに接続してください。(電源電圧は 100V±10%の範囲で使用してください。)



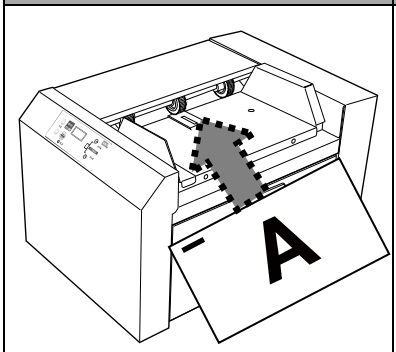
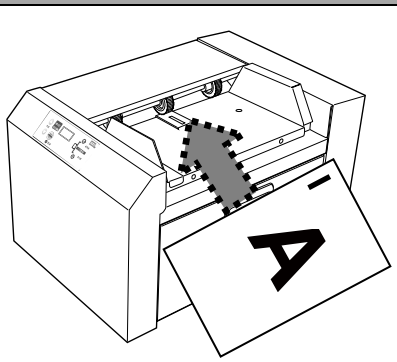
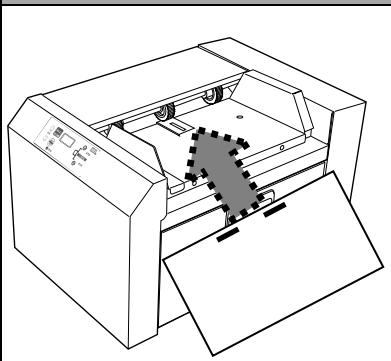
2. カートリッジがセットしていることを確認します。
   * 出荷時には、カートリッジ内に針が装填されています。
   * カートリッジまたは、消耗品の No. 30FER(ﾘﾌｨﾙ針)がセットされていない場合は、「3-3. 消耗品の交換」をご参照ください。



第 2 章　操作の流れ

2-1　本機でできること

●とじる位置

手前角とじ	奥角とじ	平とじ(2 箇所とじ)
		
A4 用紙**横向き**使用に適しています。	A4 用紙**縦向き**使用に適しています。	A4 用紙長手面を 2 箇所とじます。

●使用できる用紙

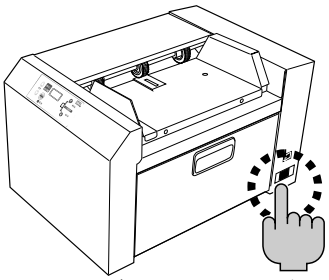
項目	仕様	備考
用紙サイズ	A4(210×297 ㎜)	斜めに裁断されているなど、裁断誤差の大きい用紙では、斜めに折れてしまう場合があります。
とじ枚数	2～30 枚	厚手の紙はとじられない場合があります。
最大積載枚数	300 枚	40 ㎜以内の用紙高さを積載できます。
紙厚	坪量 57～80g/㎡	薄手でコシのない紙や、厚手で硬い紙は、正常に送られない、とじられない場合があります。
紙種	PPC 用紙、非塗工印刷用紙	

[下記の用紙は、本機が正しく動作せず、出来栄えに不具合が生じるおそれがある為使用しないでください]

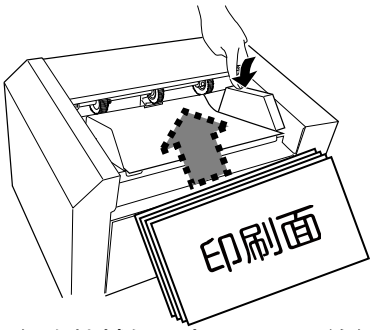
＊ A4 以外の紙は使用することができません。
＊ パンチ穴の開いた用紙、ホッチキスを取り除いた用紙は紙送りに悪影響を及ぼす為、使用することができません。
＊ 複数種類の紙が混在した冊子は紙送り、綴じ動作に悪影響を及ぼす為、使用することができません。
＊ 塗工紙(アート紙、コート紙)は使用できません。
＊ 折れ曲がった用紙、シワがある用紙、角や辺の一部が切れている用紙、極端に曲がっている用紙などは、紙送りや排出に悪影響を及ぼす為、使用することができません。
＊ 297 ㎜幅よりも大きい用紙は、用紙端がつぶれてしまうおそれがあります。

2-2　操作の流れ

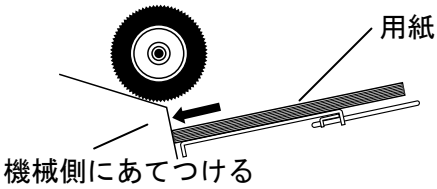
1. 本機の電源スイッチを入れます。



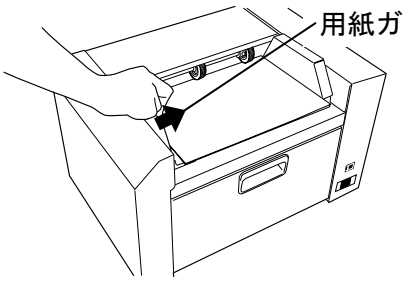
2. 給紙テーブルを押し下げながら、用紙をのせます。
＊Ａ４用紙を横長にセットします。
＊おもて面（印刷面）を上向きにセットします。



用紙を機械側にあてつけ、給紙テーブルを戻します。



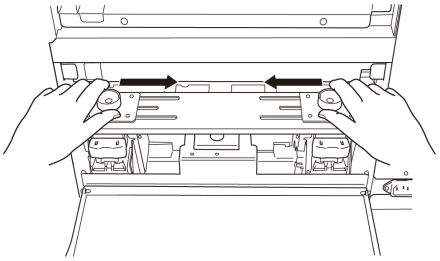
3. 用紙の手前に用紙ガイドをあてつけます。



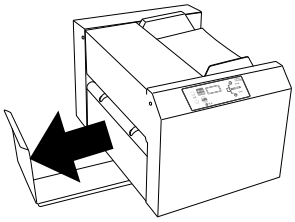
4. とじ位置ととじ枚数を決めて、操作パネルで設定します。
＊ディスプレイに、とじ枚数が表示されます。

とじ位置	手前：Ａ４横向きに適している 奥　：Ａ４縦向きに適している 平　：Ａ４用紙長手面を２箇所とじる
とじ枚数	2～30 枚の間でとじることができます。

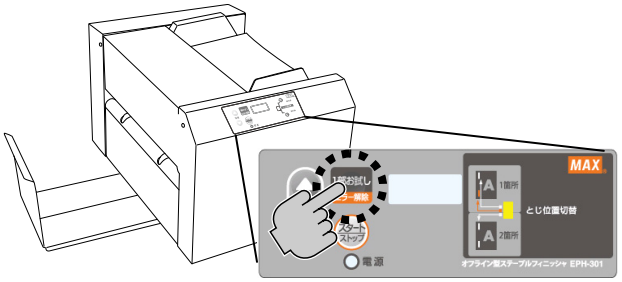
平とじの場合、ステープル固定ネジをゆるめて、平とじの位置まで移動させます。



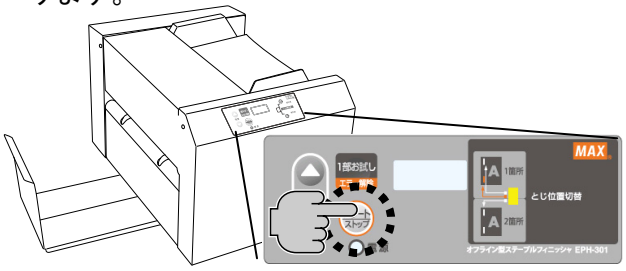
5. 排出トレイを引き出します。



6. 1 部お試しボタンを押して、とじ仕上がりの確認をおこないます。（セットした、とじ位置、とじ枚数で 1 部排出されます）



7. とじ仕上がりの確認ができたら、スタートボタンを押します。
給紙テーブルにのせた用紙を全てとじきります。

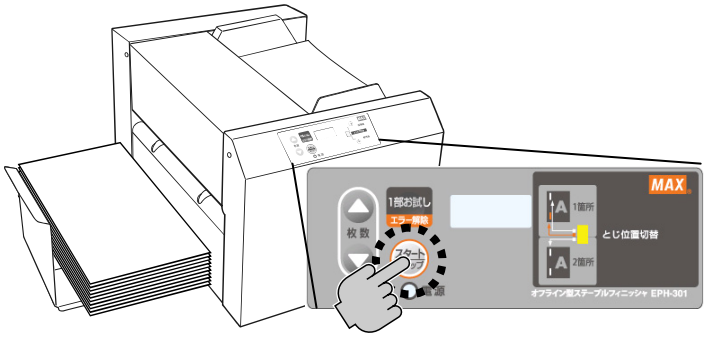


メモ
動作中ディスプレイにはとじた部数が表示されます。

2-3　動作を停止させる場合

本機は、エラー発生による動作停止以外に、任意に機械を停止させることができます。
危険が生じた場合や、動作中にとじ仕上がりを間違えたと気付いた場合などに停止操作を行ってください。

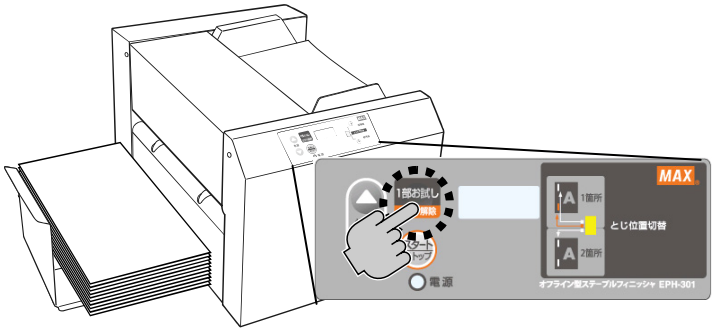
1. 動作中にストップボタンを押します。



2. ディスプレイに『Ｅ００１』と表示して、動作がとまります。

参照「3-2.　用紙の除去」

3. 本体内に残っている用紙を取り除いて、「エラー解除ボタン」を押します。



この時、『Ｅ＊＊＊(＊は数字)』というエラー番号が表示された場合は、番号が示すエラーの対処を行い、もう一度「エラー解除ボタン」を押します。

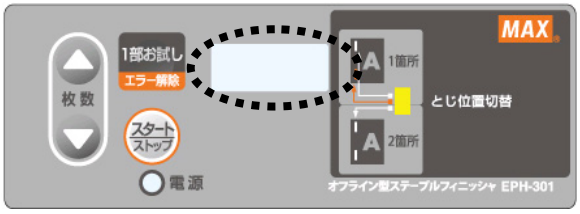
参照「3-1.　エラーメッセージ一覧」

ディスプレイが、とじ枚数の表示に戻れば、スタートさせることができます。

例：5 枚とじ

第３章　こんなときは

3-1　エラーメッセージ一覧



エラー番号は、操作パネルの
ディスプレイに表示されます。

エラー番号	エラー種類	内容	対処方法	参照
［Ｅ００１］	ストップ	ストップボタンが押された。	本機内に残っている用紙を取り除き、エラー解除ボタンを押す。	P. 10
［Ｅ１０１］	カバーオープンエラー	スタート時にカバーが開いている。	上カバーまたは下カバーを閉めて、エラー解除ボタンを押す。	－
［Ｅ１１１］	用紙無しエラー	スタート時に給紙テーブルに用紙が無い。	給紙テーブルに用紙をのせて、エラー解除ボタンを押す。	P. 9

■用紙が本機内部に詰まっている、または、残っているエラー

エラー番号	エラー種類	内容	対処方法	参照
［Ｅ１５１］	給紙エラー	給紙できない。	用紙を手でさばいて、セットしなおし、本機内に残っている用紙を取り除き、エラー解除ボタンを押す。	P. 12
［Ｅ１５２］	用紙詰まりエラー	用紙が本体に詰まり送れない。	詰まっている用紙と、本機内に残っている用紙を取り除き、エラー解除ボタンを押す。	P. 12
［Ｅ１５３］	重送エラー	用紙が重なったまま送られている。	引き込み中の用紙と、本機内に残っている用紙を取り除き、エラー解除ボタンを押す。	P. 12
［Ｅ１５４］	ステープルテーブル用紙残りエラー	ステープルテーブルに用紙が残っている。	ステープルテーブル内の用紙と、本機内に残っている用紙を取り除き、エラー解除ボタンを押す。	P. 12
［Ｅ１５５］	排出口用紙残りエラー	排出口に用紙が残っている。	排出口の用紙と、本機内に残っている用紙を取り除き、エラー解除ボタンを押す。	P. 12

■修理が必要なエラー

エラー番号	エラー種類	内容	対処方法	参照
［Ｅ１８０］	幅寄せエラー	本機内部で用紙の幅寄せが行えない。	お近くのマックスエンジニアリング＆サービスファクトリーへ修理を依頼してください。	P. 16
［Ｅ１９０］	用紙送りエラー	本機内部で用紙を送れない。		P. 16
［Ｅ２１０］	手前のカートリッジ(ホッチキス)の故障	手前のホッチキスカートリッジが故障している。		P. 16
［Ｅ２２０］	奥のカートリッジ(ホッチキス)の故障	奥のホッチキスカートリッジが故障している。		P. 16

■ホッチキスに関するエラー

エラー番号	エラー種類	内容	対処方法	参照
［Ｅ２１１］	カートリッジ無しエラー(手前のカートリッジ)	手前のカートリッジが入っていない。	カートリッジを入れ、エラー解除ボタンを押す。	－
［Ｅ２１２］	針無しエラー(手前のカートリッジ)	手前のカートリッジに針が残っていない。または、残りわずか。	No. 30FER(リフィル針)を入れ、エラー解除ボタンを押す。	P. 13
［Ｅ２１３］	針準備エラー(手前のカートリッジ)	手前のカートリッジに入っている針の、準備が整っていない。	詰まっている針を取り除き、エラー解除ボタンを押す。	P. 13
［Ｅ２２１］	カートリッジ無しエラー(奥のカートリッジ)	奥のカートリッジが入っていない。	カートリッジを入れ、エラー解除ボタンを押す。	－
［Ｅ２２２］	針無しエラー(奥のカートリッジ)	奥のカートリッジに針が残っていない。または、残りわずか。	No. 30FER(リフィル針)を入れ、エラー解除ボタンを押す。	P. 13
［Ｅ２２３］	針準備エラー(奥のカートリッジ)	奥のカートリッジに入っている針の、準備が整っていない。	詰まっている針を取り除き、エラー解除ボタンを押す。	P. 13

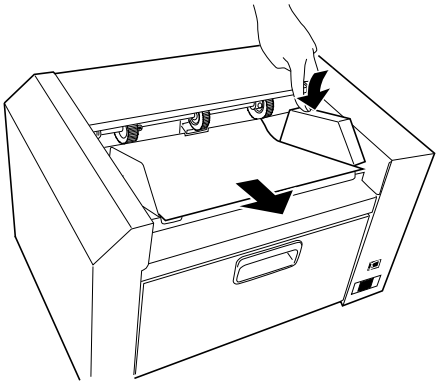
＊上記対処方法を行っても、改善されない場合は、お買い上げの販売店、当社営業所、マックスエンジニアリング＆サービスファクトリー、もしくはお客様相談ダイヤル(0120-510-200)にご相談下さい。

3-2　用紙の除去

お願い

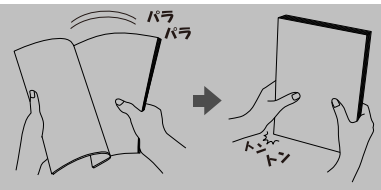
用紙の除去を行う場合は、安全の為、**本体電源を切ってから**行ってください。

■給紙ローラーがはさみこんだ用紙の除去（エラー番号：Ｅ１５１）



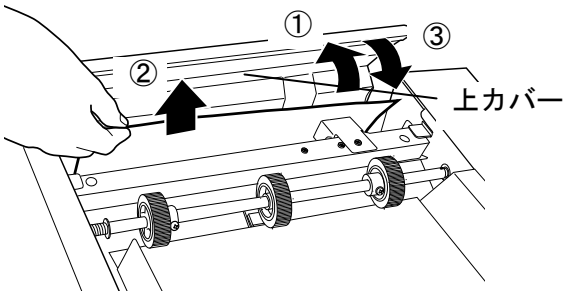
（用紙除去手順）
給紙テーブルを押し下げながら
はさみこんだ用紙を除去します。

メモ



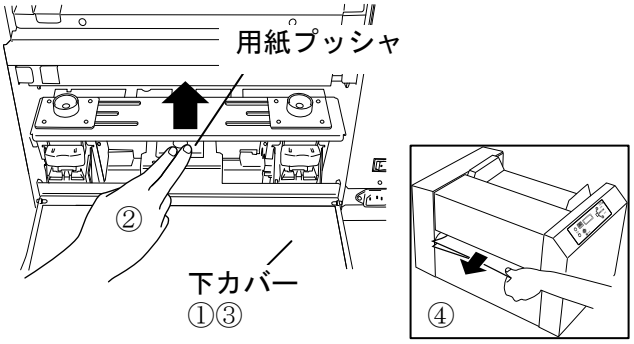
紙と紙の間に空気が入るように、用紙を手でさばき、そろえてからセットするとより安定して動作します。

■上カバー内にある用紙の除去（エラー番号：Ｅ１５１、Ｅ１５２）



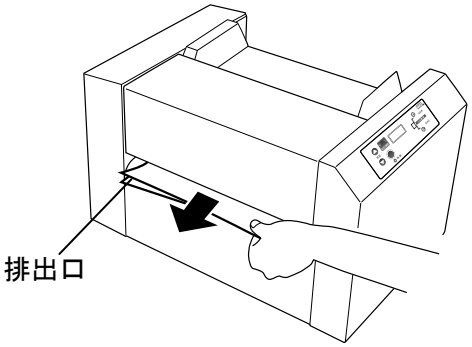
（用紙除去手順）
① 上カバーを開きます。
② 用紙を取り除きます。
③ 上カバーを閉めます。
④ エラー解除ボタンを押します。

■ステープルテーブルにある用紙の除去（エラー番号：Ｅ１５３、Ｅ１５４）



（用紙除去手順）
① 下カバーを開きます。
② 用紙プッシャを押し込みます。
③ 下カバーを閉めます。
④ 排出口から用紙をとります。
＊用紙をつかみとりにくい場合は、排出口にあるローラーを回転させて用紙を排出して下さい。
⑤ エラー解除ボタンを押します。

■排出口にある用紙の除去（エラー番号：Ｅ１５５）

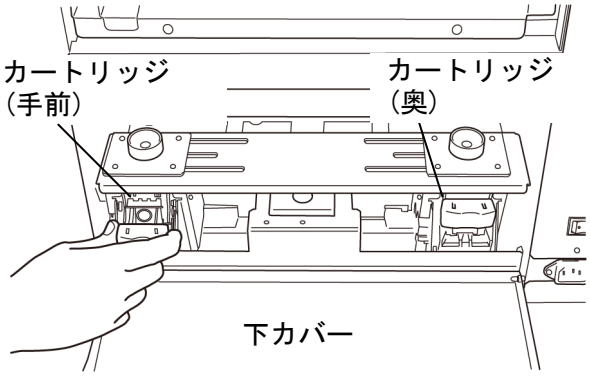


（用紙除去手順）
① 排出口から少し見えている用紙を引き出します。
＊ 用紙をつかみとりにくい場合は、排出口にあるローラーを回転させて用紙を排出して下さい。
② エラー解除ボタンを押します。

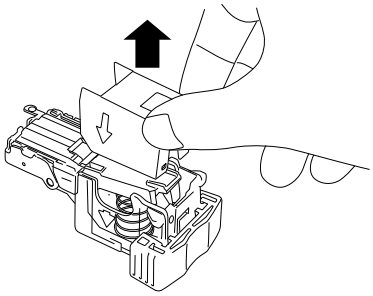
3-3　消耗品の交換

1. 下カバーを開きます。

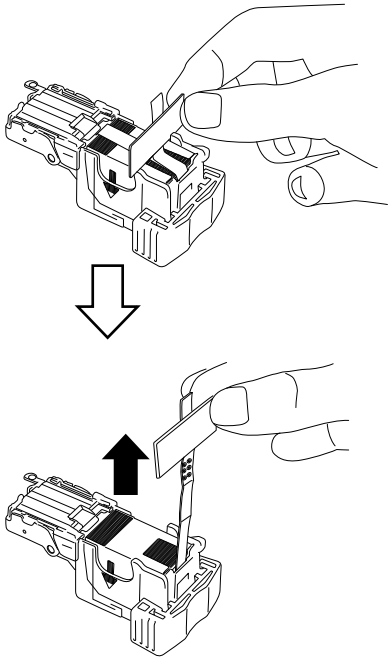
2. 交換するカートリッジを引き抜きます。
（エラー番号E212：手前、E222：奥）



3. No.30FER(リフィル針)を交換します。
①空になったリフィルを抜き取ります。



②新しい No.30FER(リフィル針)をカートリッジに入れ、タブを引き抜きます。

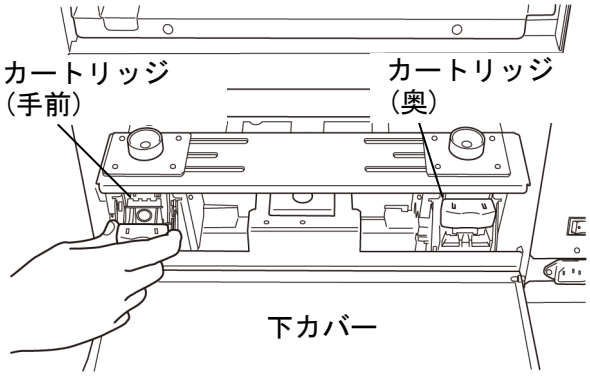


4. 本機へカートリッジを差し込みます。

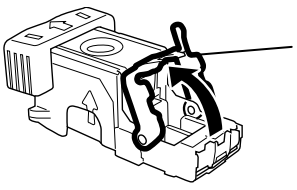
3-4　針づまり除去

1. 下カバーを開きます。

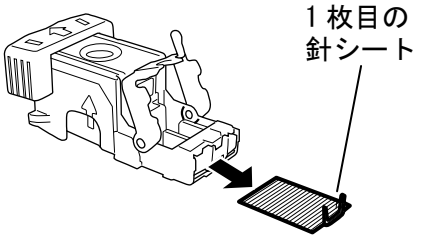
2. 交換するカートリッジを引き抜きます。
（エラー番号E213：手前、E223：奥）



3. カートリッジ先端のガイドを上方向に開きます。



4. つまっている針と 1 枚目の針シートを取り除きます。



5. 本機へカートリッジを差込ます。

3-5　メンテナンスのしかた

3-5-1. 本体のお手入れのしかた

本体が汚れた場合は、やわらかい布でふき取ってください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた洗浄液を湿らせ、固く絞った布でふき取ってください。アルコールやベンジン、溶剤等で拭かないでください。変色や変形の恐れがあります。

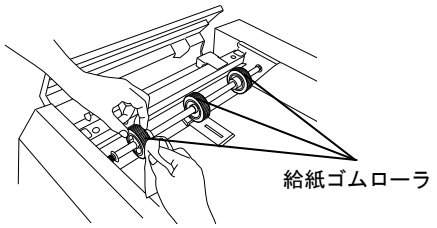
3-5-2. 給紙ゴムローラ、給紙パッドのお手入れのしかた

給紙ゴムローラ、給紙パッドに紙紛やインクなどの汚れが付着すると、給紙不良や、紙詰まりを起こす原因となります。定期的にクリーニングを行ってください。おおむね 5 千～1 万枚程度毎のクリーニングが目安ですが、印刷時のインクの乾きが不充分な状態の用紙を使用されますと、クリーニングが必要な時期を早めます。また、紙粉とインクが混ざり合ってゴムローラに固着すると、汚れをとりにくくなりますので、早めのクリーニングをお奨めします。
専用クリーナーは、マックスエンジニアリング&サービスファクトリーで販売しています。

[給紙ゴムローラのお手入れのしかた]

1. 必ず電源スイッチを OFF にした後、電源プラグをコンセントから抜いてください。

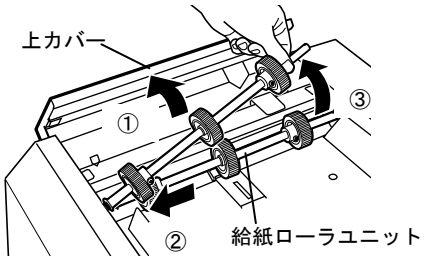
2. きれいな布に、専用のクリーナーを含ませて、給紙ゴムローラ 3 個をクリーニングします。ローラの変質を防止する為、必ず専用のクリーナーをご使用ください。ローラを手で回しながら、ローラを全周クリーニングしてください。



[給紙パッドのお手入れのしかた]

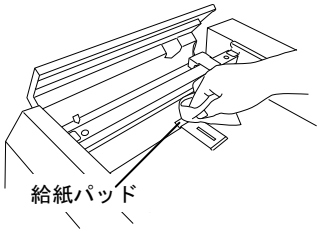
1. 必ず電源スイッチを OFF にした後、電源プラグをコンセントから抜いてください。

2. 給紙ローラユニットを次の手順で取り外します。

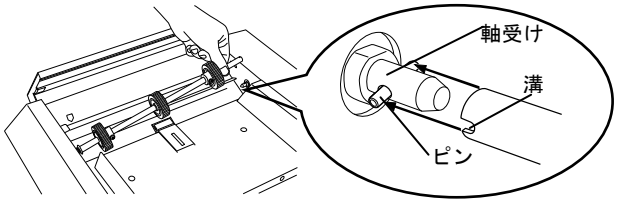


①上カバーを開きます。
②給紙ローラユニットを手前に押し込みます。
③上に引き上げて取り外します。

3. きれいな布に､専用のクリーナーを含ませて､給紙パッドをクリーニングします。パッドの変質を防止する為､必ず専用のクリーナーをご使用ください。



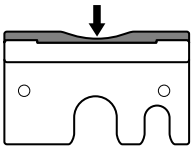
4. 給紙ローラユニットの白いプラスチック部材側を本機手前側の穴に押し込み、本体奥側の軸受けにあるピンに、給紙ローラユニットの軸にある溝を合わせます。



5. 上カバーを閉じます。

3-5-3. 消耗部品の交換のしかた

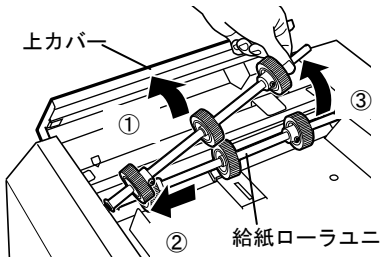
①給紙ゴムローラ、②給紙パッド、は消耗部品（マックスエンジニアリング&サービスファクトリーで販売：ＥＰＦ－ＳＢ１）です。
交換の目安は、使用枚数 20 万枚もしくは 2 年のどちらか早い方です。
いつでも快適にお使いいただくために、早めの交換をお奨めします。

消耗したときの機械の症状	交換の目安	消耗部品	交換が必要な状態
給紙テーブルから用紙が送られないことが、度々発生する。 重送エラーが度々発生する。	使用枚数 20 万枚もしくは 2 年のどちらか早い方	給紙ゴムローラ ＊ゴムローラは、磨耗の程度に関係なく、必ず**3 箇所とも交換**してください。	ゴム断面の山が丸くなって、溝が浅くなっている。 ゴムに亀裂が生じている。
		給紙パッド	給紙ローラゴムのあたる部分がへこんでいる。 

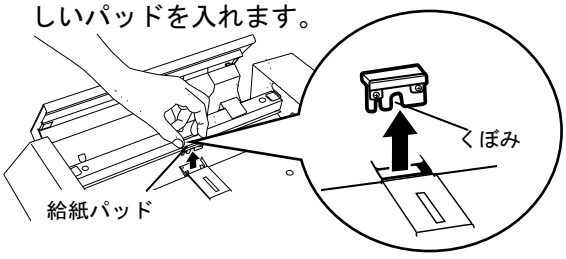
■消耗部品交換手順

1. 必ず電源スイッチを OFF にした後、電源プラグをコンセントから抜いてください。

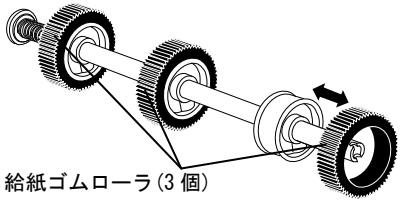
2. 給紙ローラユニットを次の手順で取り外します。
①上カバーを開きます。
②給紙ローラユニットを手前に押し込みます。
③上に引き上げて取り外します。



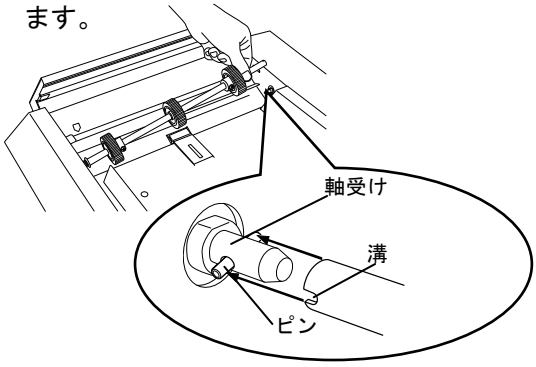
3. 給紙パッドの両側を持ち、引き上げて取り外します。くぼみを手前方向に向けて、新しいパッドを入れます。



4. 給紙ゴムローラ（3 個）を取り外し、3 個全て新しい給紙ゴムローラに取り替えます。



5. 給紙ローラユニットの白いプラスチック部材側を本機手前側の穴に押し込み、本体奥側の軸受けにあるピンに、給紙ローラユニットの軸にある溝を合わせて取り付けます。



6. 上カバーを閉じます。

3-6　こんなときは

次のような場合は、下表に従いご確認をお願いします。表に従って対処しても解決できない場合は、故障の可能性があります。最寄りの弊社営業所またはご購入販売店にご相談ください。

症状	ご確認ください	対処方法	参照
電源スイッチをＯＮにしても電源が入らない	電源コードがしっかりと接続されていますか？	電源コードを接続してください。	P.7
スタートボタンを押しても動かない	カバーが開いていませんか？	カバーを閉じてください。	－
	使用できる用紙が正しくセットされていますか？	使用できる用紙を正しくセットしてください。	P.8
	本機内に用紙が残っていませんか？	本機内に残っている用紙を取り除いてください。	P.12
とじ位置がずれてしまう	用紙ガイドが斜めに取り付けられていませんか？	用紙ガイドは用紙に合わせ、まっすぐにあてつけてください。	P.9
	用紙ガイドが用紙幅に合わせて固定されていますか？	用紙ガイドを用紙幅に合わせ、固定してください。	P.9
	用紙の裁断が曲がっていませんか？	裁断誤差の少ない用紙をご使用ください。	－
	使用できる用紙以外の紙を使用していませんか？	本機の適合用紙をご使用ください。	P.8
紙詰まりが多発する	使用できる用紙以外の紙を使用していませんか？	本機の適合用紙をご使用ください。	P.8
	用紙が湿気でシワになっていませんか？	湿気てシワになっていない用紙をご使用ください。	P.8
	用紙ガイドが用紙幅に合わせて固定されていますか？	用紙ガイドを用紙幅に合わせ、固定してください。	P.9
	用紙通過部に紙片が詰まっていませんか？	用紙の除去を確認してください。	P.12
	用紙が静電気で貼り付いていませんか？	市販の静電気除去スプレー等で静電気を除去してください。	－
	印刷直後のインクで湿っている用紙を使用していませんか？	充分に乾いてから使用してください。	－
	積載枚数を超えて用紙を給紙テーブルへのせていませんか？	300 枚以内をのせてください。	P.9
シワが生じる	使用できる用紙以外の紙を使用していませんか？	本機の適合用紙をご使用ください。	P.8
	印刷の乾燥が不十分で、用紙がはりついていませんか？	インクを充分に乾かした後、用紙をよくさばいてから紙折りをします。	－
	印刷直後のインクで湿っている用紙を使用していませんか。印刷直後のインクで湿っている用紙を使用していませんか？	充分に乾いてから使用してください。	－
	用紙通過部に紙片が詰まっていませんか？	用紙の除去を確認してください。	P.12
用紙端がつぶれてしまう	用紙幅が 297 ㎜を超えていませんか？	本機の適合用紙をご使用ください。 事前に、1 部お試しを行っていただく事をおすすめ致します。	P.8 P.9
排出トレイが満杯でないのに、排出口用紙残りエラーが発生する	排出トレイが引き出されていますか？	排出トレイを引き出してください。	P.9
	用紙が極端に曲がっていませんか？	用紙の曲がりをなおしてください。	－
給紙テーブルから、用紙が送られない	給紙ゴムローラが紙粉やインクで汚れていませんか？	給紙ゴムローラを清掃してください。	P.14
	給紙ゴムローラが摩耗していませんか？	給紙ゴムローラを交換してください。	P.15
	使用できる用紙以外の紙を使用していませんか？	本機の適合用紙をご使用ください。	P.8
	給紙パッドが汚れていませんか？	給紙パッドを清掃してください。	P.14
	給紙パッドが摩耗していませんか？	給紙パッドを交換してください。	P.15

3-7　アフターサービスのご案内

保証書について

●保証期間中万一故障した場合、保証書記載内容に基づき無償修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
●保証期間後の修理は、お買い求めの販売店、当社営業所、またはマックスエンジニアリング＆サービスファクトリー窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。
●お客様登録カード:お客様登録カードに必要事項をご記入の上 FAX にて送信するかハガキ部分を投函してください。

アフターサービスについて

●お買い上げの販売店、当社営業所、マックスエンジニアリング＆サービスファクトリー、もしくはお客様相談ダイヤル(0120-510-200)にご相談下さい。
●持ち込みで修理をご希望される場合は、修理品を販売店またはマックスエンジニアリング＆サービスファクトリーの窓口にお持ちください。

第 4 章 商品仕様

総称	オフライン型ステープルフィニッシャ
商品名	EPH-301
商品コード	ZH90036
適合用紙サイズ	A4(210×297 mm)
適合用紙紙厚	坪量 57g/㎡～80g/㎡
適合紙種	PPC 用紙、非塗工印刷用紙
処理速度	約 70 秒(5 枚×10 部)
とじ位置	角とじ、平とじ
給紙積載枚数	最大 300 枚
規格	VCCI ClassB
電源電圧	AC100V±10%
消費電力	72W
使用環境条件	室温　10℃～35℃　湿度　80%以内(結露しないこと)
外形寸法	約 350 (W) x502 (D) x319 (H) mm
質量	約 24kg(電源ケーブル除く)
消耗品	No.30FER
消耗部品	EPF-SB1

＊EPH-301 のデザイン仕様などについては、将来予告なしに変更することがあります。

修理サービスおよび不明の点はお買い上げの販売店、当社営業所、
マックスエンジニアリング＆サービスファクトリー、
もしくは下記お客様相談ダイヤルへお問い合わせください。

お客様相談ダイヤル：０１２０－５１０－２００

又は、有料ダイヤル 03-3669-6786

＊携帯電話からは、有料ダイヤルにお電話ください。

〈月～金曜日(祝日・当社指定休日を除く)９：００～１８：００〉

＊ナンバーディスプレイを利用しています。

URL ： http://www.max-ltd.co.jp/op/

MAX マックス株式会社

本社・営業本部	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町 6－6	TEL (03) 3669-8108 (代)
支店・営業所			
札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東 6-12-8	TEL (011) 261-7141 (代)
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東 2－1－29	TEL (022) 236-4121 (代)
新潟支店	〒955-0081	三条市東裏館 2－14－28	TEL (0256) 34-2112 (代)
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町 6－6	TEL (03) 3669-8141 (代)
名古屋支店	〒462-0819	名古屋市北区平安 2－4－87	TEL (052) 918-8619 (代)
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川 1－3－18	TEL (06) 6444-2031 (代)
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音 7－11－24	TEL (082) 291-6331 (代)
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田 1－5－1	TEL (092) 411-5416 (代)
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭 2－10－3	TEL (019) 621-3541 (代)
長野営業所	〒399-0033	松本市笹賀 8155	TEL (0263) 26-4377 (代)
静岡営業所	〒422-8036	静岡市駿河区敷地 1-3-26	TEL (054) 237-6116 (代)
販売関係会社			
埼玉マックス（株）	〒331-0823	さいたま市北区日進町 3－421	TEL (048) 651-5341 (代)
横浜マックス（株）	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘 7－6	TEL (045) 364-5661 (代)
金沢マックス（株）	〒921-8061	金沢市森戸 2－15	TEL (076) 240-1871 (代)
岡山マックス（株）	〒700-0971	岡山市野田 3－23－28	TEL (086) 246-9516 (代)
四国マックス（株）	〒761-8056	高松市上天神町 761－3	TEL (087) 866-5599 (代)
マックスエンジニアリング＆サービスファクトリー㈱			
本社・高崎サービスステーション	〒370-0031	高崎市上大類町 412	TEL (027) 350-7820 (代)
札幌サービスステーション	〒060-0041	札幌市中央区大通東 6-12-8	TEL (011) 231-6487 (代)
仙台サービスステーション	〒984-0002	仙台市若林区卸町東 2－1－29	TEL (022) 237-0778 (代)
東京サービスステーション	〒190-0022	東京都立川市錦町 5-17-19	TEL (042) 548-5332 (代)
名古屋サービスステーション	〒462-0819	名古屋市北区平安 2－4－87	TEL (052) 918-8624 (代)
大阪サービスステーション	〒553-0004	大阪市福島区玉川 1－3－18	TEL (06) 6446-0815 (代)
広島サービスステーション	〒733-0035	広島市西区南観音 7－11－24	TEL (082) 291-5670 (代)
福岡サービスステーション	〒812-0006	福岡市博多区上牟田 1－5－1	TEL (092) 451-6430 (代)